

8890 : SINTIC CD # 1398

1398



通信第一號

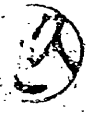
附件第十九號

33.  
9.  
29.

自昭和十四年七月一日  
至昭和十四年七月三十一日

洛安作戰戰報詳報

第三十五師團通信隊



北支

0520

27652

1.

陸軍

師團通信隊戰況詳報

一 行動の概要

準備行動ヨリ清化鎮西方掃蕩終了迄(前七月十四日)

七月一日 晴

一 部隊主力ハ新郷ヨリ列車輸送ヨリ十八時清化

鎮ニ到着城内ニ宿營ス

二 六月二十五日以来先遣シテ有線小隊主力中村

少尉以下四十五名ハ清化鎮軍交換所ヲ基卓トシ

逐次集結ス在清化鎮師團司令部並ニ各部隊

間ニ有線通信網ヲ構成セリ

七月二日 晴

一 有線小隊ハ午前中前日ニ引續キ城内各部隊間

ニ有線通信網ヲ構成シ午後ハニヶ分隊(十五名)ヲ

以テ清化鎮軍交換所ヨリ柏山大井川部隊本部ニ有

線通信網ヲ構成ス

全長六、三料鐵道線路ニ沿ヒ電柱ヲ利用シツツ  
構成セシ道狹小ニシテ小川多ク車輛ノ通過ニ困難  
セリ

二十時目的地ニ到着セルモ断線ノ數アリ五卷ノ間網  
査シタルモ断線ノ所多ク時既ニ遶ク翌日卓模セン  
トシ二十四時歸隊ス

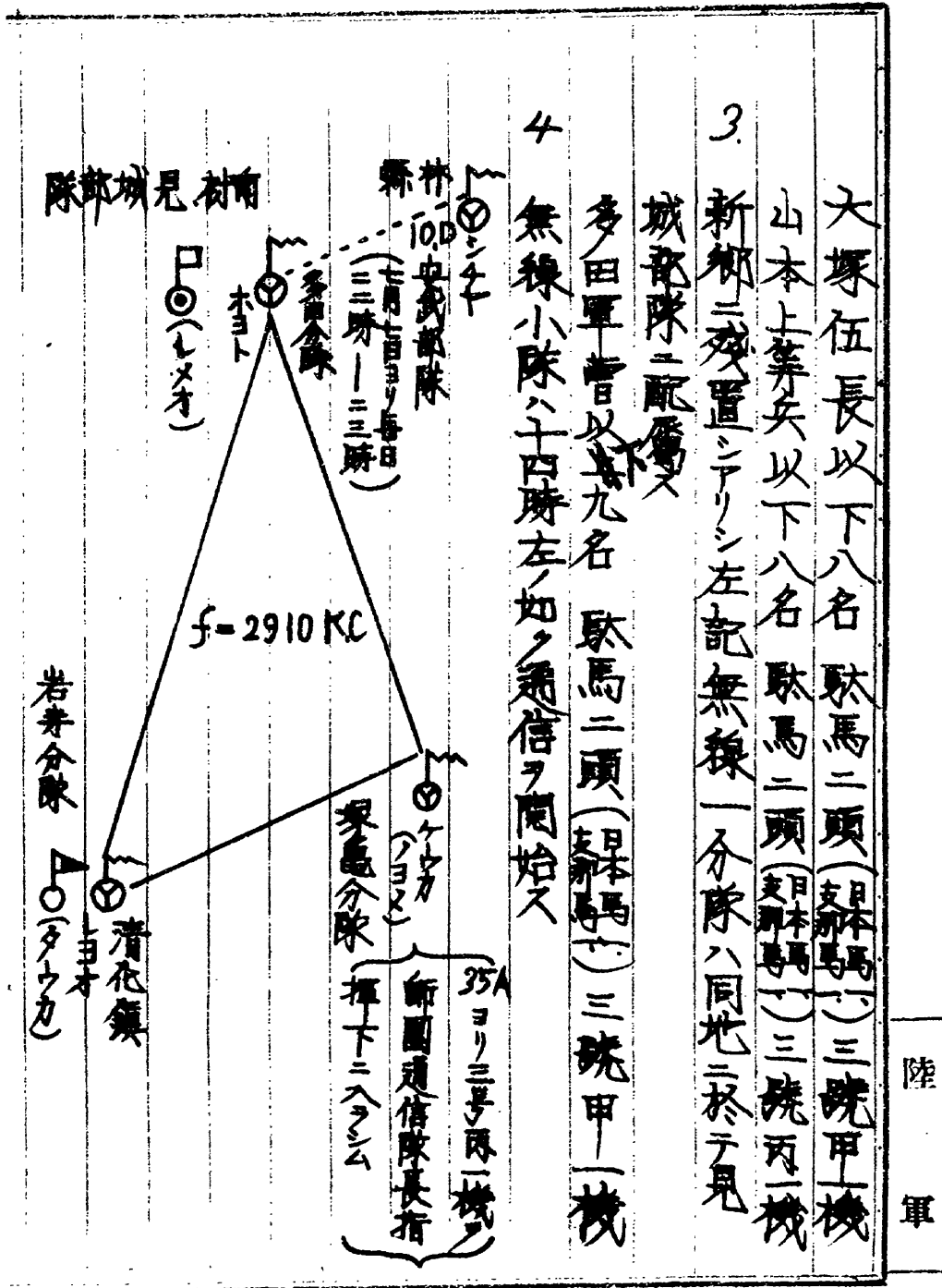
2 森山見習士官兵野戰電信第四十二中隊長及軍無  
線第三十八小隊長ト協力シ青化鎮合同通信所ヲ設  
ス

七月三日 晴

ノ下士官四名ヲ以テ合同電報受付所ヲ開設ス

2 左ノ如ク飯田支隊ニ無線三分隊ヲ配屬ス

井川伍長以下九名 駄馬二頭(日本馬)三號甲一機



0523

夕有練小隊ハ本日又テ三五師作命内第十二號ニ基  
ノ通信網ノ構成ヲ完了シ各分隊各擔任練ノ保線  
ヲ行フ

三五師作命内第十二號ニ基キ青化鎮軍交換所ニ新夕ニ  
加入克部隊左ノ如シ

師團長室	經理部	野戰倉庫
參謀長室	獸醫部	糧秣交付所
參謀長室	軍醫部	師團通信隊
參謀部	飯田部隊本部	兵器勤務隊
副官室	大井川部隊本部	第二野戰病院
副官室	星野部隊	病馬廠
管理部	城太郎部隊	第三十五野戰 給水部
合同通信所	近兼重部隊	第二建築隊本部
兵器部	栗屋部隊	山砲兵大隊

陸軍

無線第三十八小隊

師團司令部鳩班

七月四日 晴

ノ三五師作命 甲第三十九號 丙第十九號 丙第二十號ヲ受領シ左記各號ノ如ク處置ス

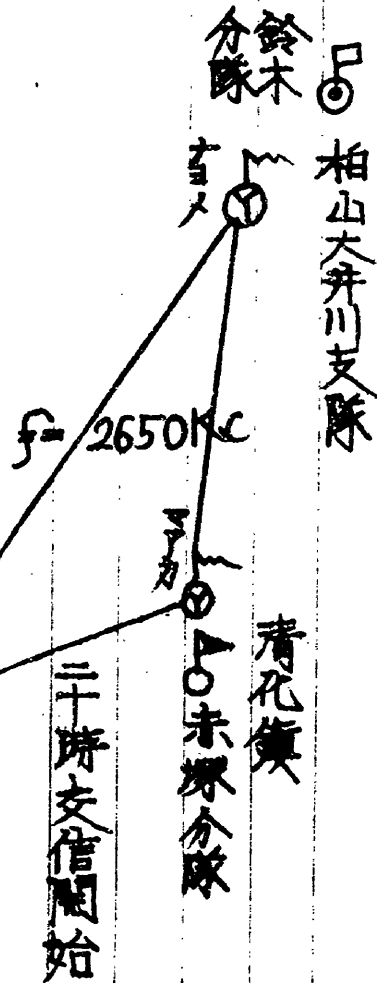
2. 第二小隊長 森山見習士官八部下第一分隊若畑軍曹以下十四名(電話器四、線八卷)ヲ指揮シ七月六日必陽ニ到リ飯田部隊長ノ指揮下ニ入り先ニ配屬セル無線三ヶ分隊ヲ伴ヒ指揮ス

3. 無線第一分隊 鈴木軍曹以下九名(豚馬二頭、日誌馬一三號用一機)ヲ柏山大井川部隊ニ配屬十七時行軍ヲ以テ清化鎮出發ニ二時ヨリ左ノ如ク通信ヲ開始ス

七月五日晴

々有線江口伍長以下三名ヲ以テ軍交換所ヨリ司令部  
參謀室ニ電桂架ヨリ通信網ヲ構成ス全長二卷  
ノ有線佐藤江口両分隊ハ各擔任線ヲ保線ス

大塚分隊  
必陽  
☆飯田分隊



陸軍

1 八時三十分友軍機三機飛來ニ付高橋分隊ハ師團戦闘司令所ニ通信所ヲ開設九時二十分ヨリ無線電話ヲ連絡ヲ開始ス

※ 法田 (トシオ) 60KC  
 ※ 佐藤 (サトウ) 57KC  
 ※ 倉田 (クラダ) 54KC  
 ※ 阿蘇山 (アソヤマ) (ヨネオ)

戦闘司令所

天氣晴朗感度明瞭度共ニ良好ニシテ連絡自景況亦良好無線電話ナル清化鎮——彰徳間約百料ノ通信ニ成功ス

2 有線後藤分隊ハ長以下六名ヲ以テ軍交換ヨリ距離一五料 時刻 九〇〇——一三〇〇

3 二百リ師團戦闘司令所間ニ有線網ヲ構成ス三五師存命内第十九號ヨリ無線電信第ニ千八小隊ノ一分隊(岡田分隊)師團通信隊長ノ指



七月六日 晴

揮下ニ入りタラズ但シ原所屬隊格養(左ノ如ク通  
信系ヲ構成セシム

各自隊  
五號機

富澤隊

f=453KC

野砲隊

無線電信等ニ  
ハ小队ノ三號甲

交信開始六日七三。爾後一時間毎ニ受信ノ態勢  
ヲトシ

- 1 森少見習士官以下(若畑軍曹以下十四名乗馬一  
輓馬三)早朝必陽飯田支隊ニ向ケ出發ス
- 2 中村少尉八清化鎮師團司令部——富澤隊  
隊(許良方面ニ行動ノ予定)間ニ有線連絡ノ

陸軍

為部下小隊十五名(馬匹五)ヲ指揮シ朝食後富澤部隊ト共ニ出發ス

3

無線小隊ハ九ノヨリ高橋分隊ヲ以テ昨日ノ要領ニ依リ對空連絡ヲ實施シ其ノ景況良好ナリ

輕爆撃機三機飛來敵情ノ細部ヲ報告シ歸還

更ニ二六二五ヨリ連絡シ一七一五終了ス

右對空通信ニ於テ成績良好ニシテ參謀長ヨリ

賞詞ヲ受ケタリ、

七月七日晴

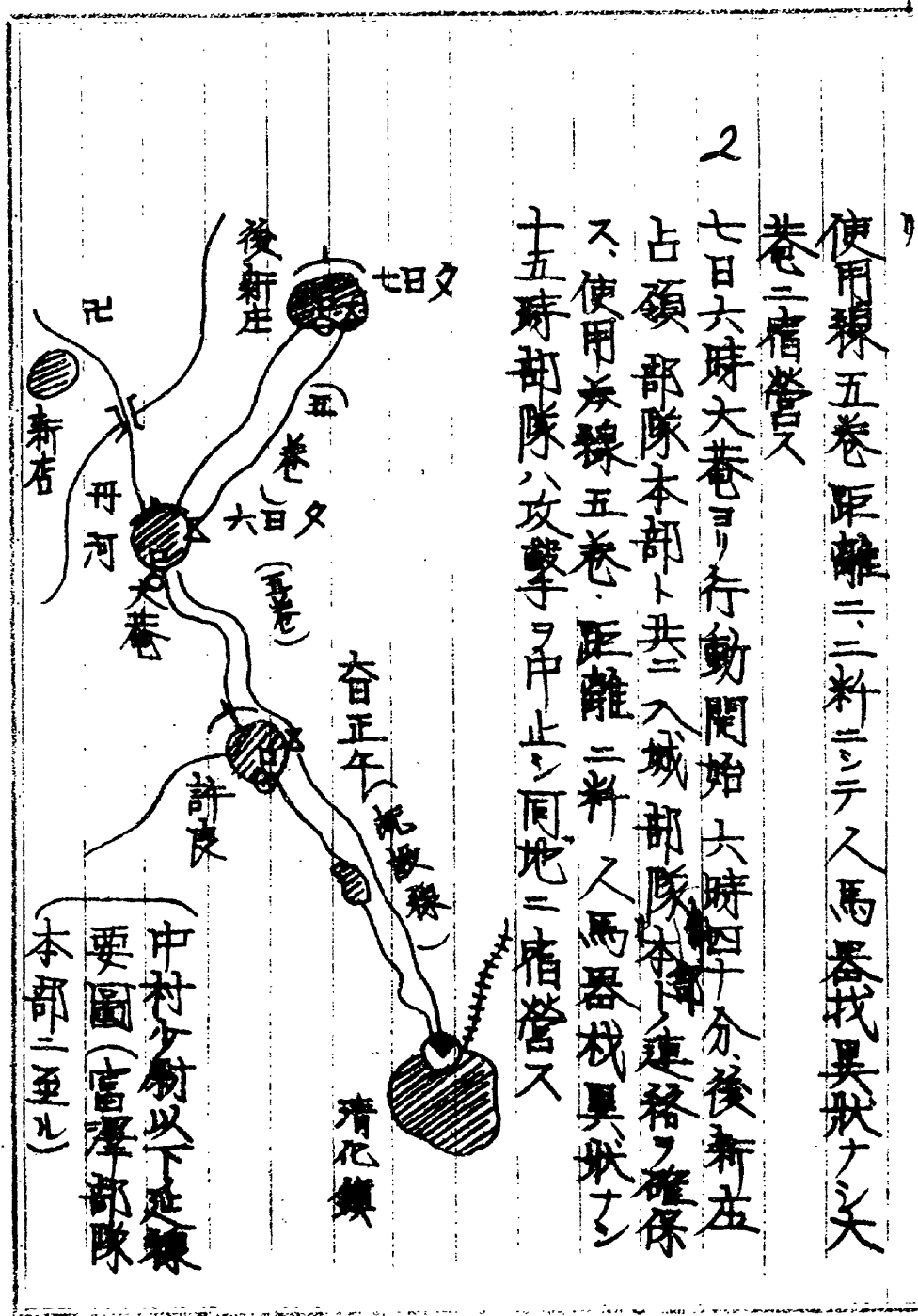
ノ

昨六日清化鎮ヲ出發セル中村少尉以下有線分隊ハ同日十一時二十分清化鎮西北方許良方面

ニ到着同地富澤大隊本部ヲ其處トシ第一線中谷

隊間ノ有線連絡ニ任ジツ、十八時四十分部隊ノ

大巻占領ト共ニ八城シ部隊本部トノ連絡ヲ確保セリ



使用線五巻距離ニ二料ニテ入馬器找異狀ナク  
 卷ニ宿營ス  
 2  
 七日六時大巻ヨリ行動開始六時四十分後新庄  
 占領部隊本部ト共ニ入城部隊本陣ヲ連絡ヲ確保  
 ス使用線五巻距離ニ料ニ入馬器找異狀ナク  
 十五時部隊ハ攻撃ヲ中止シ同地ニ宿營ス

陸軍

3. 清化鎮関口分隊ハ清化鎮軍支換所柏山大井川部  
隊間ノ有線網ヲ撤收スベク十九時出發三十一時柏山  
ニ到着ス

三十一時命令變更より撤收ヲ取止メ柏山ニ新設彈  
藥及糧秣集積所ニ電話機ヲ取付替フスコトトシ  
仍テ泊之上安藝伍長以下四名ヲ殘置シ明八日歸隊  
ノ予定 入馬器材異状ナシ

ハ無線高橋分隊八九四〇——一〇三〇及一六〇〇——  
十七三〇ノ二回師團戰關司令所ニ於テ友軍機爆撃機ト  
無線電話ヲ以テ連絡セリ

七月八日 晴

ノ三五師作命内第三十号ヨリ第五十師團通信隊無線  
二分隊ノ給養ヲ擔任ス右分隊ハ師團合同通信所開設  
シ第三十師團ト通信連絡ニ任ズルコトナリ無線小隊長

根木少尉ヲシテ區署セシム

2 富澤部隊ト同行中中村少尉ハ松田分隊ヲシテ後

新庄 許良間ノ有線ヲ撤收セシメ佐藤分隊ヲ後

新庄警備隊本部ニ殘置シ有線連絡ニ任セシム

3 後藤分隊八軍交換所 太郎田部隊間ノ有線網ヲ撤

收ス

4 山王庄(富澤部隊警備)兵站彈藥糧秣集積所

電話當番トシテ上等兵以下三名ヲ派遣服務セシム

5 富澤部隊ト同行中有線中村少尉以下松田分隊

子名馬匹ニ頭歸陳ス

6 富澤部隊ノ今迄作戰間ニ於ケル有線通信ニ関シ

小隊長中村少尉ノ所見ヲ如シ

本戦闘間通信連絡ハ完全ニ確保セシメ任務達成セ

ルハ實ニ部下分隊ノ不眠不休ノ努力ノ致ス所ニシテ

陸軍

特ニ步兵大隊ニ出サレタル通信ノ事故皆無クニ終リタレハ  
欣快ナリ

ノ無線通信ハ各支信系共概ネ良好ニ實施サレタリ然レ  
共晝夜ヲ通シ空電多ク更送要求ノ回数多クハ遺憾ナリ

七月九日雨

ノ二十二時以後大井川部隊トノ連絡取レズ毎時呼出スモ應  
答ナシ器材ノ故障ト推定サル

ノ本日ヨリ降雨益々激シク通信連絡ノ確保ニ懸命ナリ

七月十日雨

ノ大井川支隊配屬無線鈴木分隊トノ連絡依然取レズ  
器材故障ナシヤ部隊ノ状況ニ因リヤ不明(同支隊ハ西松  
溝附近ナリ)

ノ見城支隊配屬無線多田分隊ヨリ水場片破壊ストノ  
電報アリ

同分隊ハ爾後主發振ヨリ實施ス

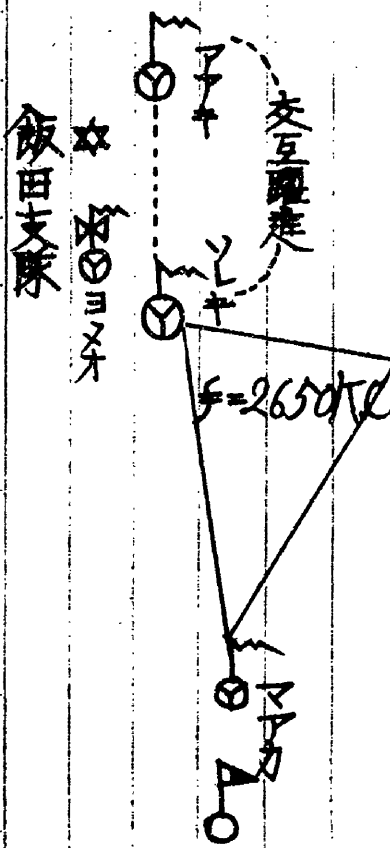
七月十日兩夜曇

ノ飯田部隊本部常平村ニ前進ニ當リ同支隊配屬  
無線三號甲ニ機(マアカ及ソキ)ハ交互躍進シシ統

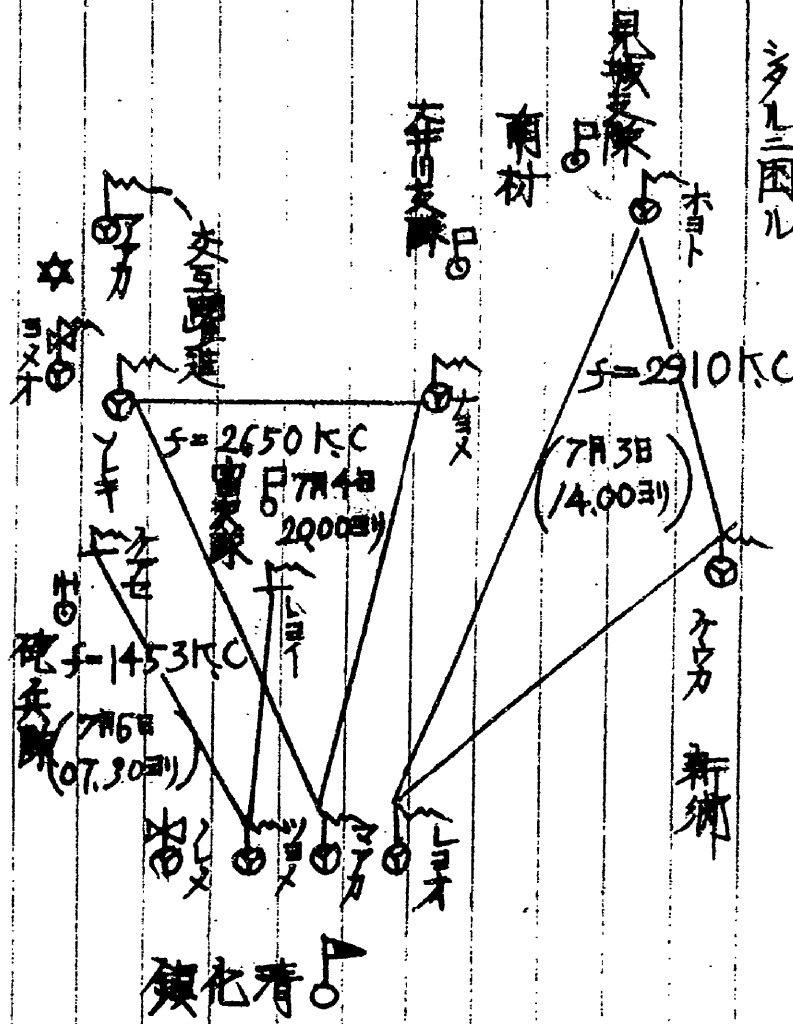
制機通信所(マアカ)ニ連絡セリ

五時四十五分(アアカ)ヨリ基点ヲ呼出シ七時通信完了  
シ更ニ(ソキ)ヲ呼出シ某地点ヲ到着セル旨ヲ通報セリ

大井川支隊 P O ナヨメ



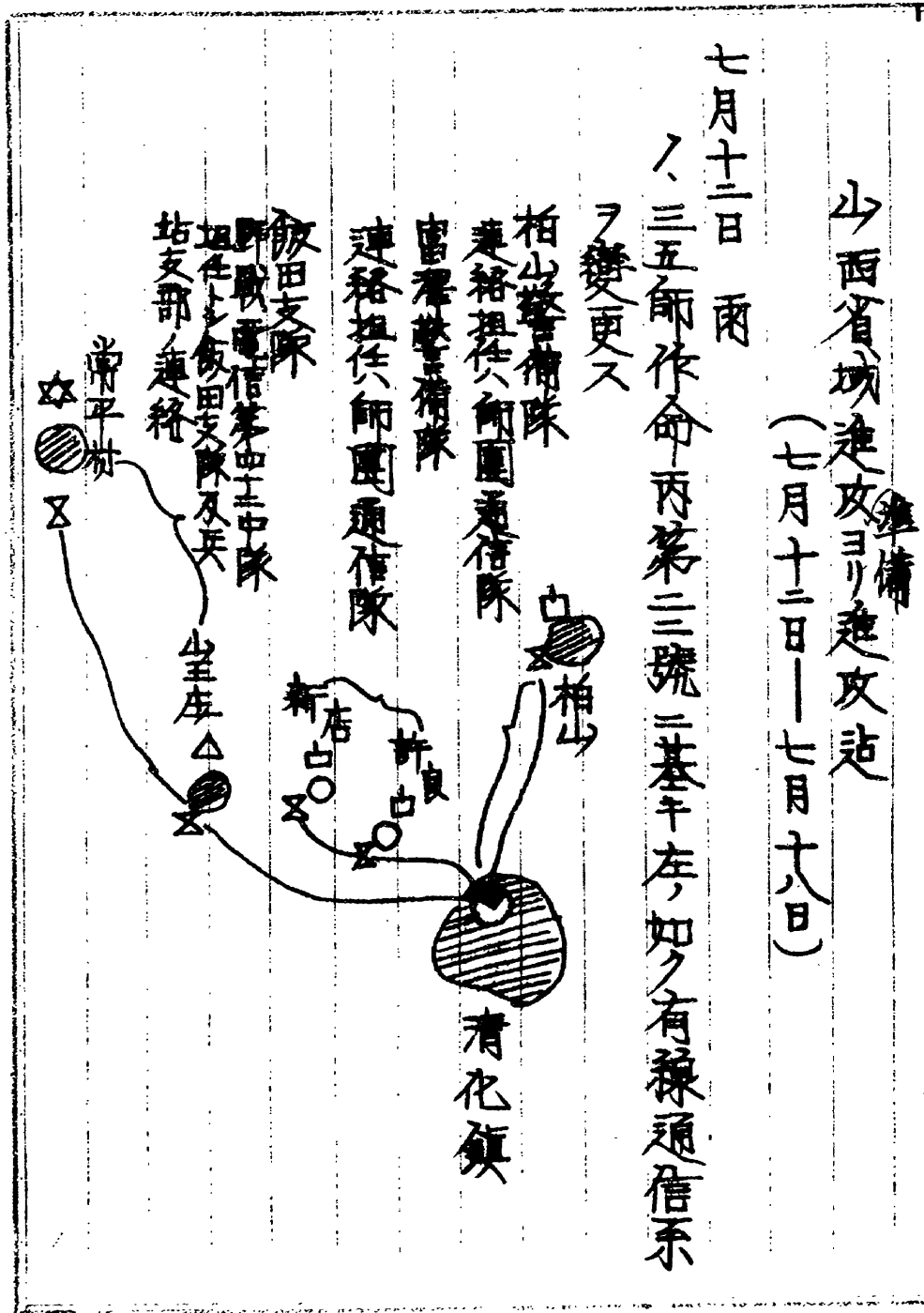
師團通信線無効部隊通信網圖  
(山西省城邊攻前)



二一昨日以來不通ナリシ大井川支隊(鈴木介隊)トノ連絡  
 七時三十分至リ恢復セリ發電機二兩水浸ハシ故障發生  
 多シ困ル

陸軍





陸軍

2 有線松田江口兩分隊ハ清化鎮ニ於ケル各有線網ヲ保線  
ス。後隊分隊長以下四名ヲ以テ軍交換所——戦闘可  
令所間ノ有線網ヲ撤收ス

3 飯田支隊ニ配屬ノ森少見習士官リ左ノ如キ報告アリ

イ小銃彈飛來シ支隊本部附近ハ相當危険ナリ

敵ハ其後多數ノ小銃彈迫撃砲ヲ遺棄逃走セリ

ロ稀與頃調ニ行カズ悪路ト闘フ

ハ小隊長以下元氣旺盛ノ馬器杖異狀ナシ

ニ本夜支隊主力ハ「常平村」戦闘司令部所集中完  
了ス

了ス

4 見城部隊ヨリ無線(多田分隊)感度低ク受信困難

ニシテ新洲中隊ニ依リ受信ス

對空無線高橋分隊ハ「四〇〇——一六二〇」迄飛行機

ト連絡ヲ爲セリ

七月十三日 雨

1 有線小隊ハ松田分隊ヲ以テ清化鎮軍交換所—病馬療  
間ノ保線ヲ實施ス

2 飯田支隊配屬 森山小隊ハ糧秣補給ヲ自動車ニ依  
リ實施ス

人員松田軍曹以下九名

時刻一五〇〇—一六三〇

距離 清化鎮—新店 約七料

新店 常平村間ハ森山小隊若畑分隊新店通信  
所ニ連絡ニ來リ駄載歸還スル筈

3 對空無線高橋分隊ハ九一〇 彰徳飛行場ヨリ電  
話呼出アリタルヲ以テ連絡一、三〇感度明瞭良好ナ  
ニテ終了ス

4 無線小隊ハ三五師係命丙三三號ヨリ配屬軍無

陸軍

線岡田分隊を以て實施中ノ左圖通信系ヲ閉切ス爾後

岡田分隊ハ待期トス

富澤部隊

清化鎮

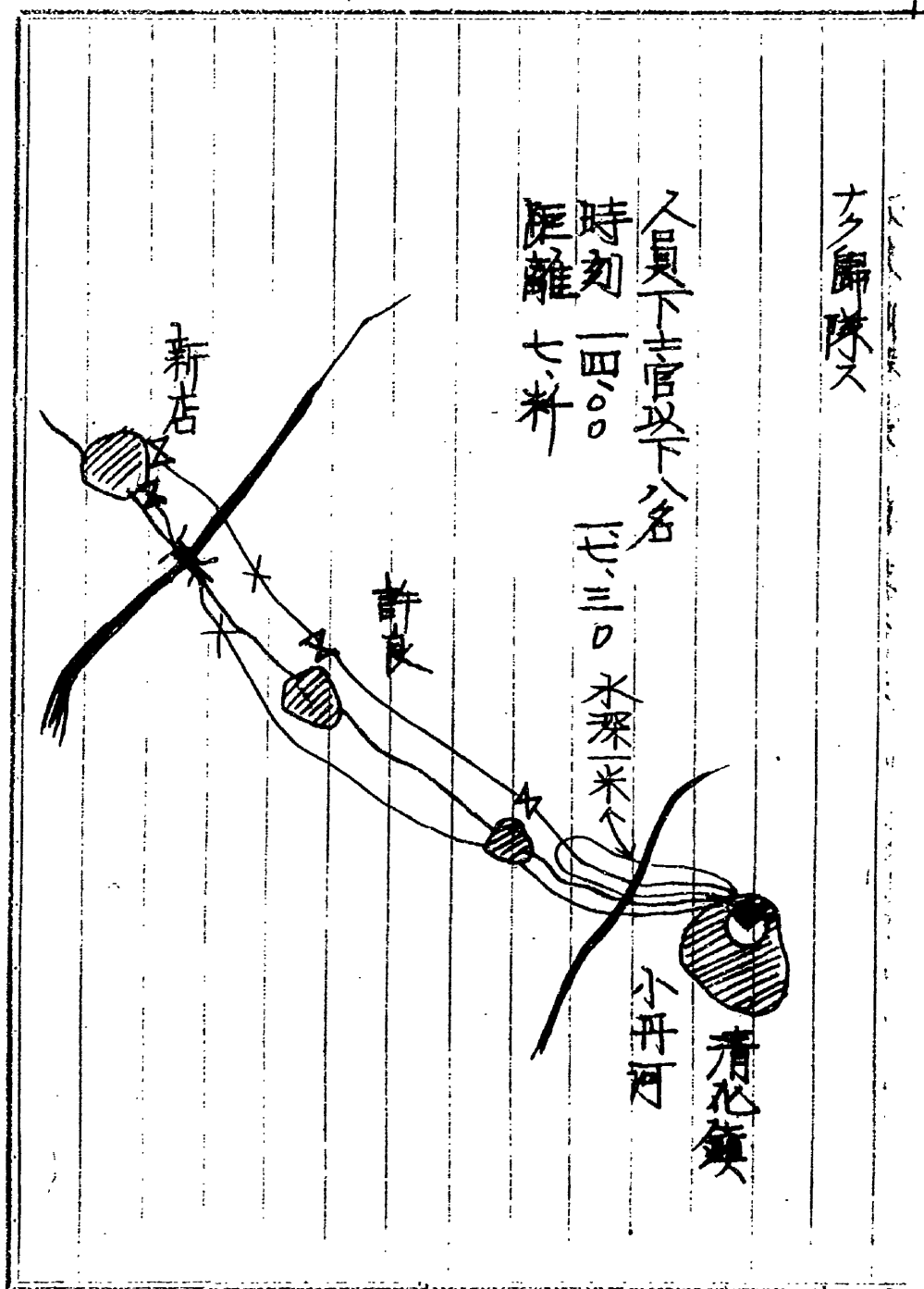
岡田分隊

砲兵隊

大井川部隊ノ清化鎮集結ニ伴ヒ同部隊配屬無線終  
木分隊ハ三十一時閉切探花鎮出發夜行軍ヲ以テ部  
隊ト共ニ清化鎮ニ向フ

七月十四日雨

ノ連日ノ豪雨ニ依リ保線ノ度数増加シ松田江口分隊ハ  
城内各保線更ニ新店ニ至ル間ノ保線ヲ實施朝來ノ豪  
雨中ヲ出發道路出水多ク進路不明自動車ノ通行困  
難トテ全員下車自動車ヲ進路ヲ探知シテ前進冊河  
左岸附近ニ於テ断線箇所ヲ發見修理トシ人員其他異状



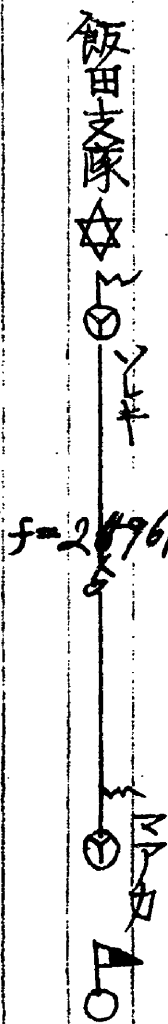
陸軍

2 三五師作命再第ニ三號ニ依リ有線小隊後藤  
伍長以下七名ヲ飯田支隊へ配屬シタル兵站自動  
車ニ依リ出發セシム

七月十五日 曇後雨

1 鈴木分隊ハ大井川支隊ト共ニ清化鎮ニ到着爾後  
大井川支隊前進ニ當リ清化鎮ニ殘置サレ待機中  
仍テ當隊ニ於テ給養擔任ス

2 大井川部隊(鈴木分隊)ノ開所ニ伴ヒ第ニ系ハ左ノ如  
ク無線通信系ヲ變更ス



3 有線小隊ハ松田分隊長以下七名ヲ以テ午後城内軍  
交換所ヨリ清化鎮停車場間有線網ヲ構成ス

城東附近ハ連日ノ降雨ニ由リ出水多量ニシテ延線作業  
困難セリ作業途中他部隊線ノ断線ニ因リ所ヲ發  
見セリ依テ之ヲ保線セリ

七月十六日 曇

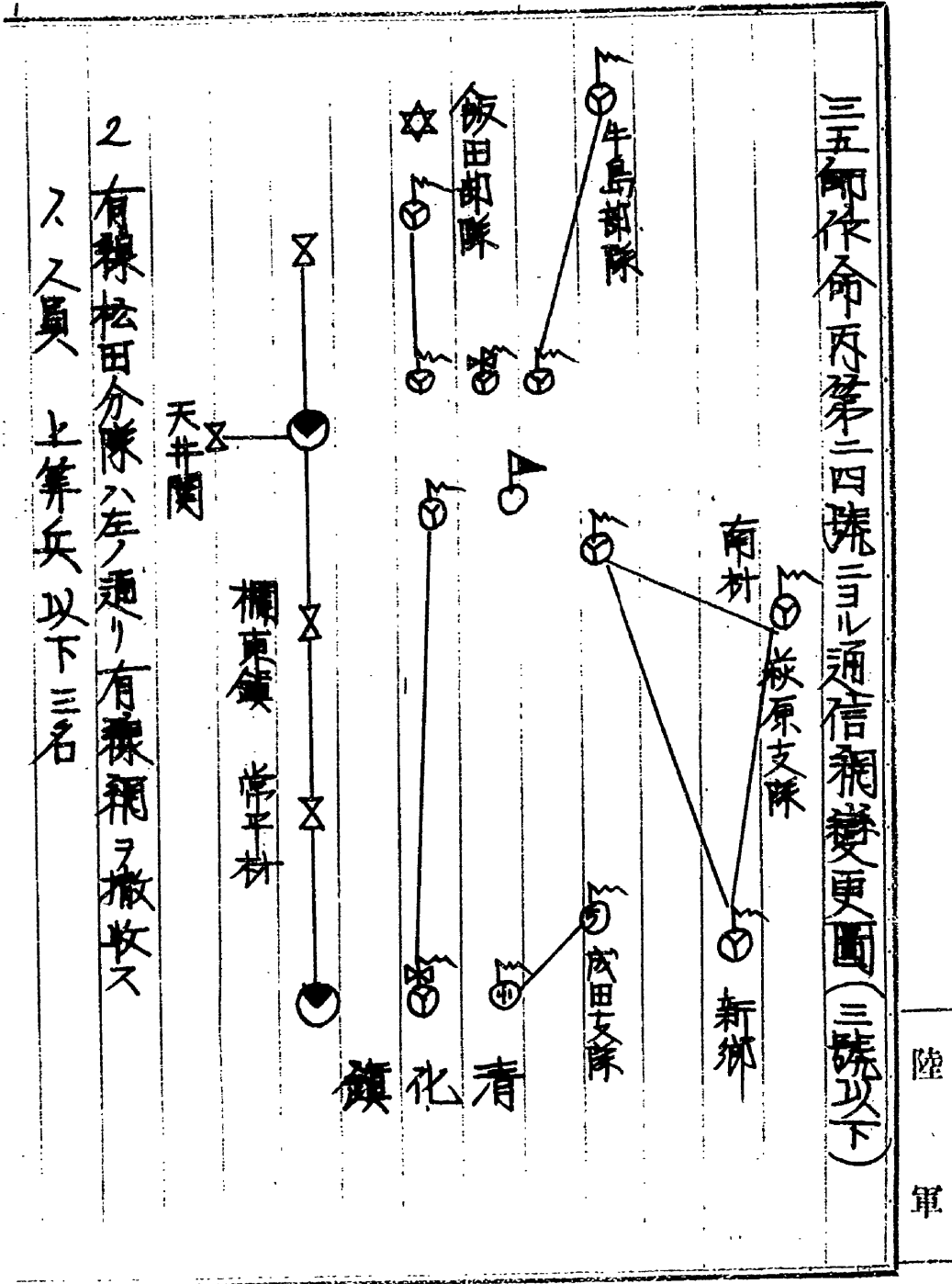
ノ兵器部ヨリ小型無線三機ヲ受領ス

七月十七日 雨

ノ連日ノ降雨ニテ道路、東屋ノ破壊スル所多ク通信  
線ノ確保ニ支障ナク如ク各分隊保線員檢入

七月十八日 小雨

ノ飯田支隊ハ本朝天井関ヲ占領シ師團ハ明十九日  
戦闘司令所ヲ同地ニ設置シ分師團通信隊及軍  
無線小隊ノ通信機變更ニ関スル命令ヲ受領ス

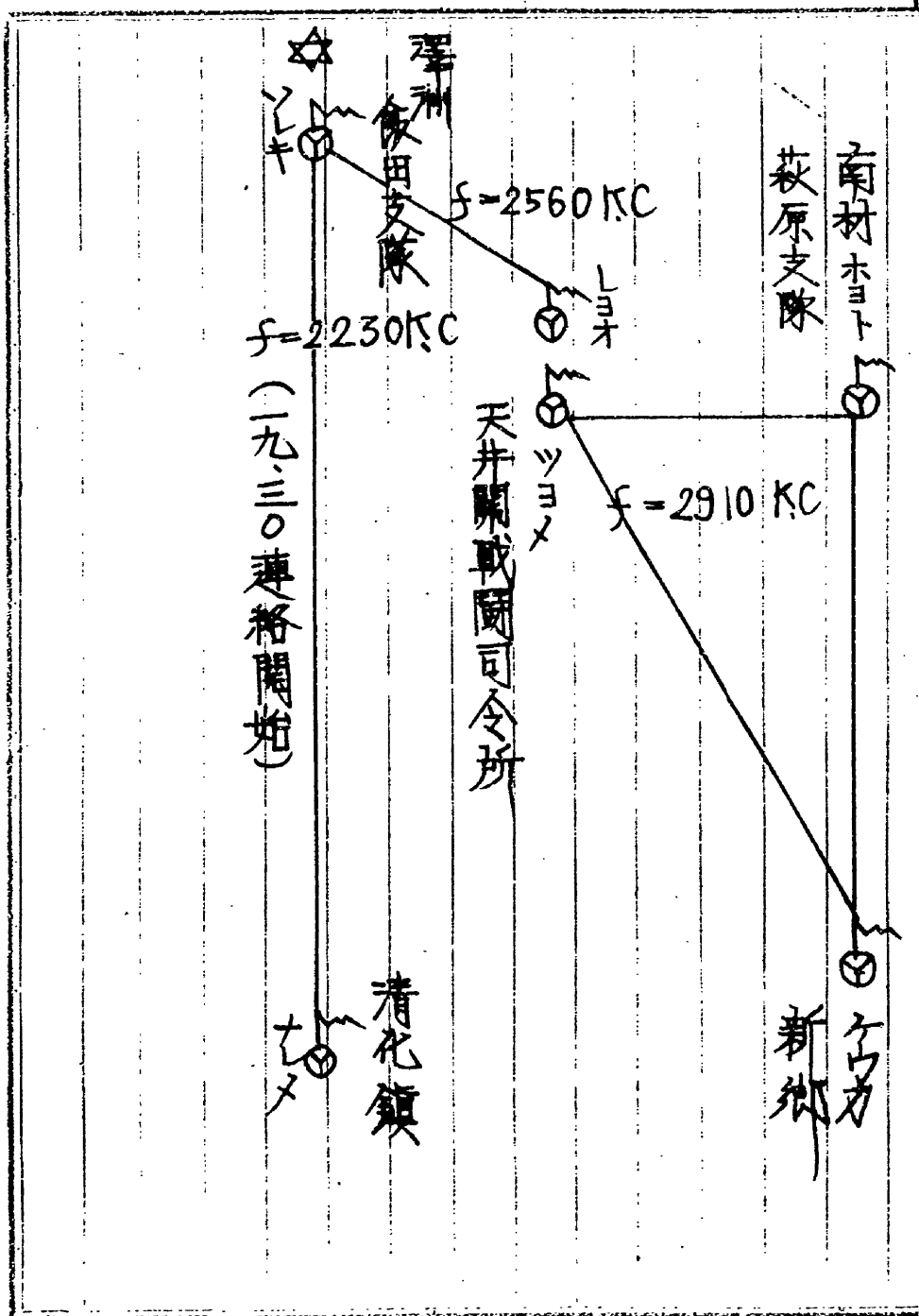




2 場所 軍交換—兼重部隊 (ニニ料)  
 3 時間 一四三〇—一六三〇  
 3 柏少通信所勤務員及各隊電話當番者本日返ニ  
 部交代ス  
 4 無線小隊ハ小型無線一分隊ヲ新ニ編成シ清化鎮合同  
 通信所ニ在置セシメ成田又隊五號機トノ連絡ニ在ビシム  
 5 通信隊主力天井関ニ推進シ爲出發準備ヲ爲ス  
 師團通信隊主力澤洲進入ヨリ同地引揚返 (七月十九日—七月廿四)  
 七月十九日曇夜晴  
 ノ通信隊主力隊長以下四十三名ハ自動車三臺ニ分乘  
 七時清化鎮ヲ出發師團司令部ト共天井関戰闘  
 司令部ニ前進ス  
 澤洲街道ハ路幅狹小且嶮悪ニシテ連日ノ降雨車  
 輛ノ行進困難ニシテ遊帶甚ダシ十三時漸ク老馬嶺

陸軍

西北山上ニ達シ晝食更ニ常本村一油房頭一夫井  
 関ノ間敵戦跡ハ數多ク敵遺棄死体斃死馬及  
 少積老彼我砲彈藥莢等ヲ左右ニ見撃シ戰友半  
 斃ノ状堪マズ思ヒシ檢校ノ山道ヲ前進欄車鎮附近  
 兵テ日ハ既ニ没ス  
 普南鎮附近ニ到レハ四邊暮色ニ包マレニ三騎車上兵  
 テ夕食(携帶口糧ニ)後引續キ夜行軍ヲ以テ乘令騎  
 三十分天井関ニ到着露營ス  
 一同元氣旺盛ノ馬器杖異状ナシ  
 (2) 無線小隊ハ天井関到着ト共ニ左ノ如ク通信所ヲ  
 開設連絡ニ任ス



七月二十日 晴、小雨

陸軍

ノ全員七時 天井関ヲ出發 行進ノ難處ハ前日以上ナリ  
十三時 双棚欄ニ於テ晝食ス

隊長以下三名 十六時 四十分 本部 近藤軍醫中尉以  
下十三名 十八時 有線中村少尉以下八名 二十時 各陣  
洲ニ入城ス

途中 自隊 自働貨車ハ河内村 於テ故障 運轉不  
能トナリ 運轉兵三名 外 江口分隊七名 同地 兵ニ發遣

シ 中村少尉ハ関口分隊ヲ指揮 強行軍ヲ以テ追及セリ

ヲ 糧秣支給 ナクシタメ 食ハ微發モ 麥粉 塩ニ 塩汁ニ 依レ

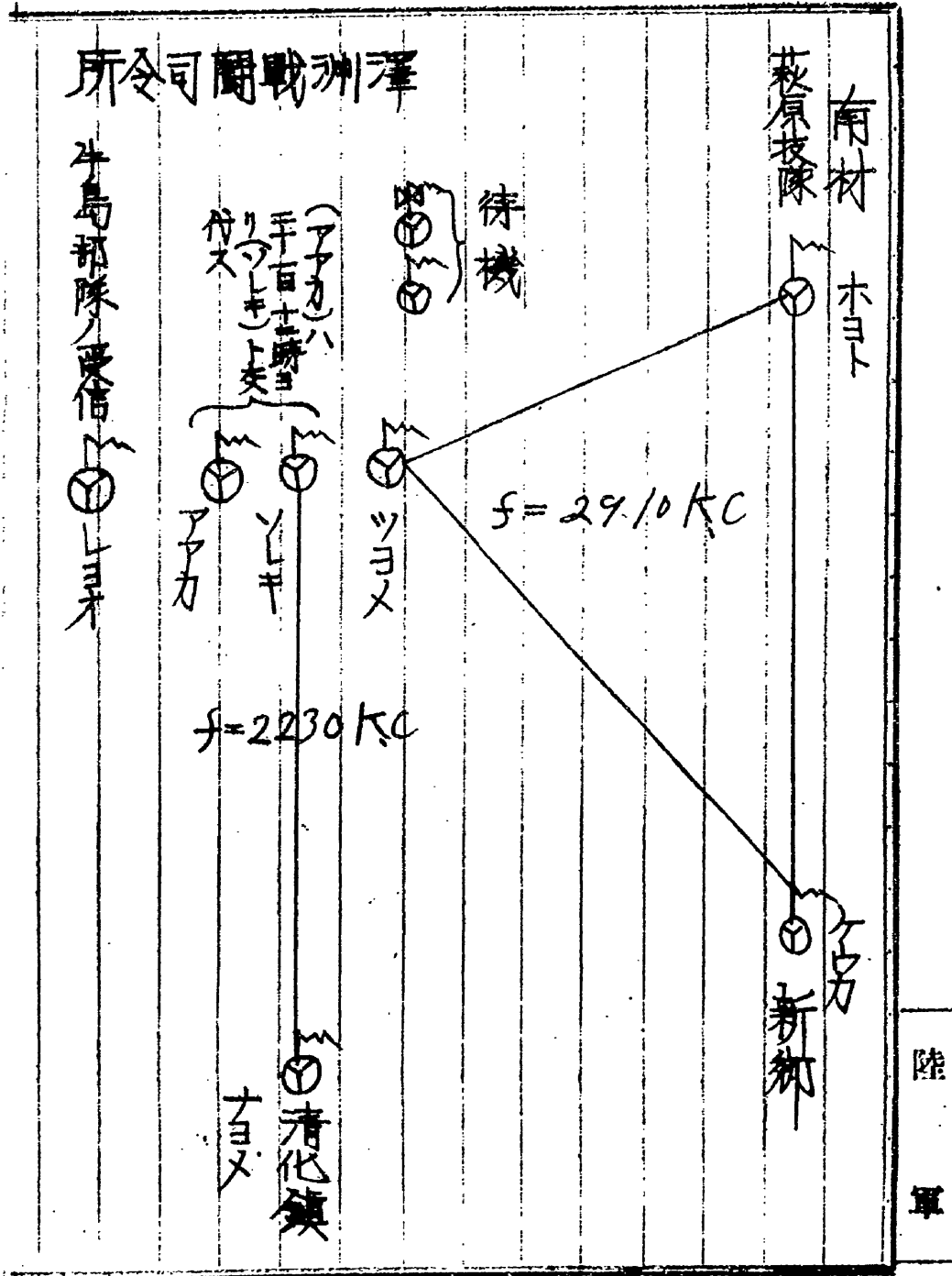
テ 飯田支隊 配屬無線ノ 内 井川 山本 兩分隊 三五師

ヲ 命 丙 第三 四 號ニヨリ 復歸ス

ヲ 有線 中村 小隊 八 関口 分隊ヲ以テ 森山 小隊ノ 延線

ヲ 戦闘 司令 所ト 飯田 支隊 本部 並ニ 薦田 部隊

本部ニ各電話機ノ設置及勤務者ノ配當ヲナシ  
 ノ間ノ有線連絡ニ任ス  
 又江口分隊ヲ以テ清化鎮—澤洲間ノ軍有線ヲ  
 利用河右村警備隊本部ニ通信所ヲ開設兵ニ  
 名ヲ以テ警備隊移動迄勤務セシム  
 無線根木少隊ハ戦闘司令所ト清化鎮新郷南村  
 間ノ無線連絡ヲ左ノ如ク實施ス  
 (三五師作命丙×號)



七月三十一日曇時々雨

ノ部隊ハ有線無線小隊ヲシテ引續キ通信連絡存セ

シヌ一部隊ヲ以テ糧食徴發ヲ實施セリ

ニ三時南上軍兵以下二名巻褌携行兵站自動車便取

河内村ヨリ澤洲ニ到着ス

ノ中村少尉ハ関口分隊ヲ率ヒ自動車故障箇ノ河

内村ニ残置中ノ巻褌ヲ運搬幕スルニ七時澤洲ヲ出發シテ

ルモ途中小箕村ニ於テ兵站自動車隊遭遇シ通路閉

塞状態トナリ前進不能仍テ同所ヨリ在河内村江口分

隊ニ巻褌ハ兵站自動車隊ニ託送シ電話手ヲ名及運

轉兵ニ名及殘置シ爾餘ハ速カニ澤洲ニ退及ラ命ジテ

七時澤洲ニ歸ル來ス

ハ三時河内村ヨリ巻褌ノ一部隊到着セラ以テ関口分隊

ヲ以テ戦闘司令部所一第ニ十師團司令部(在澤洲)

間ニ有線網ヲ構成セシム

七月二十日小雨後晴

陸軍

ノ三五師司令部奉三號ヨリ戦闘司令部所ノ明ニ

十三日澤洲ヲ撤去シ清化鎮ニ歸還存ノ通信網

ノ撤收並ニ清化鎮ニ歸還ノ準備ヲ區署ス

二十三時江口分隊長以下三名ハ河内村ヨリ強行軍ヲ以テ

進及到着ス

三十九時兵站ヨリ糧秣二日分ヲ受領分配セリ

ノ有線中村小隊ハ左ノ如ク有線通信網ヲ構成シ支

ガ連絡ニ任ス

ノ關口分隊

小隊宿營地内ニ交換ヲ設置シ戦闘司令部所飯

田支隊本部間並ニ戦闘司令部所第三十師團司

令部間ノ回線ヲ交換機ニ切換加入ス

交換所糧秣倉庫間ニ有線網ヲ構成ス





口江口分隊

交換所ヨリ薦田部隊本部及野電電信第四中隊間ノ有線網ヲ構成シ爾後交換勤務ヲ擔任ス

ハ佐藤上等兵以下三名河内村警備隊本部在

リテ電話所勤務ヲ續行

三五師依命丙ノ號ニ基テ有線通信網要圖左ノ如シ

飯田支隊本部

薦田部隊本部

野電第四中隊

糧秣倉庫

第三師團司令部

5軍無線 岡田分隊 (ツヨメ) 八咫十五分村 萩原

支隊ト連絡完了但シ新機ト連絡取レテ

戦闘司令部

野電中士班

河内村通信所

清化倉庫 交換所

陸軍

對空無線 山本分隊ハ八時ヨリ彰徳飛行團ト連絡

十七時閉所ス

澤洲(アカ)―清化鎮(オメ)間無線通信ハ混

信並ニ空電ノ多ク清化鎮通信所受信困難ナリ

周波数ニニ〇〇ケラニニ〇ケニ變更ス

ク有線無線各小隊ハ澤洲ニ於テ構成セシ通信網ヲ清

化鎮歸還準備ノ多ク二十四時ヲ期シ各撤收ス

七月二十三日 晴

ノ飯田支隊ニ無線并川山本兩分隊ヲ再ニ配屬河内村

通信所ニ有線通信手ニ名及運轉兵ニ名(故障車共)

殘置シ部隊ハ兵站自動車ニ介乘シ七時三十分澤洲

ヲ出發清化鎮ニ向フ

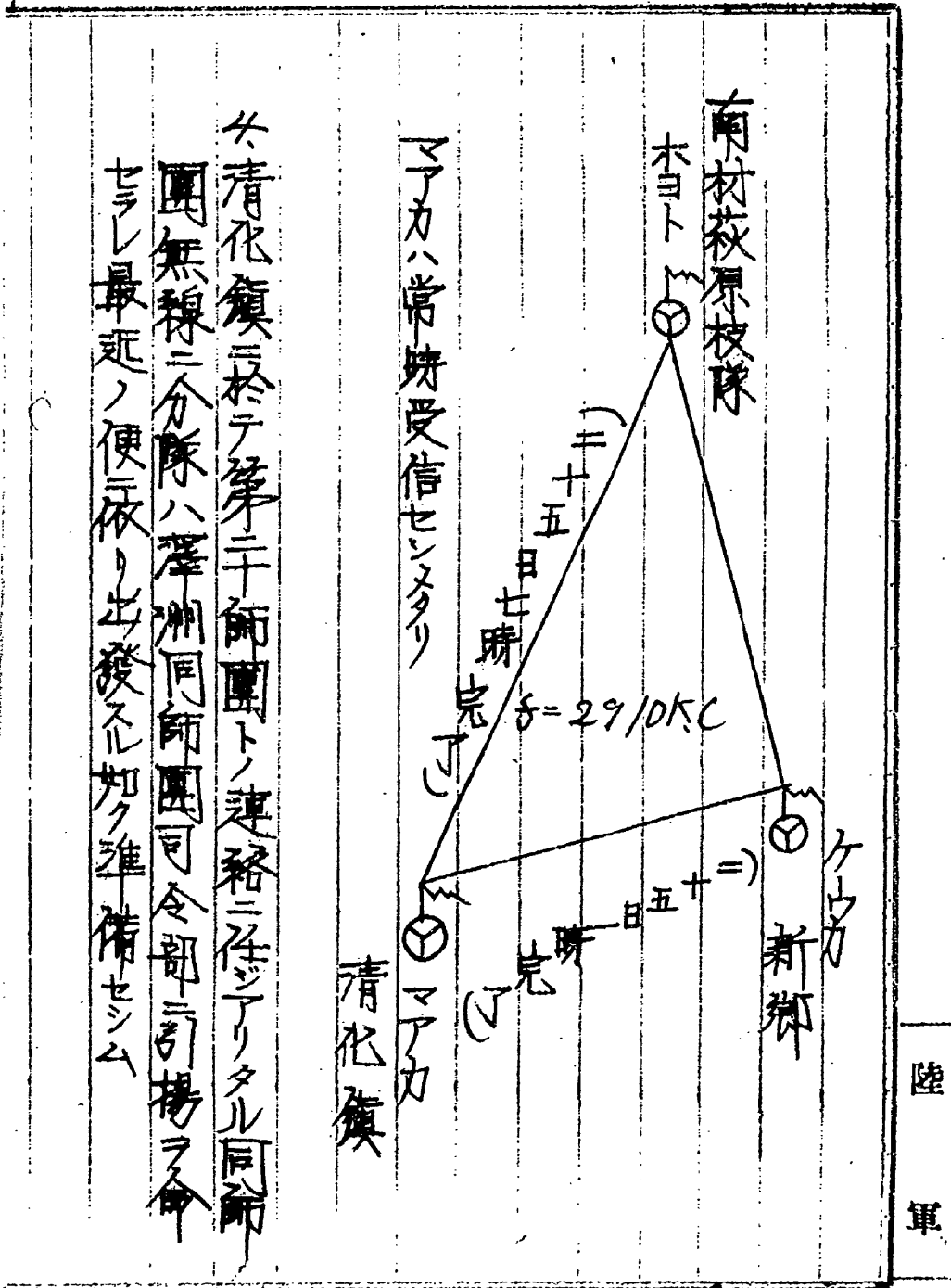
十時下鐵南ニ於テ道路修理ノ多ク約十二時間ヲ要

シ晝タ食ヲ喫シ全員道路補修ニ任シ二十時完

了出發ス、二十三時馬塞村西方峠澤洲南方三  
 料ニ到着同地ニ於テ露路營入

七月二十四日 晴

ノ部隊ハ九時露路營地出發シ自動貨車夜リ再  
 ヒ前進途中概ネ順調ニシテ二十時同志氣旺盛  
 清化鎮ニ歸還ス、自動貨車一臺故障ニ因リ河  
 杏村ニ殘置セル外ノ員器材共異狀ナシ  
 2 有線松田介隊ハ清化鎮軍交換所一許良  
 通信所約四料間長以下四名ヲ以テ軍通信隊  
 ノ保線作業ニ協力セリ  
 爾後城内各線ノ保線實施ス  
 3 無線小隊ハ本夜歸還ノ赤塚分隊ヲ以テ左ノ  
 如ク通信ヲ再開セシム



女清化鎮ニ於テ第二十師團トノ連絡ニ任ゼリタル同師  
 團無線ニ分隊ハ澤洲同師團司令部ヲ引揚ラセ命  
 セシレ最近ノ便依リ出發スル如ク準備セシム

清化鎮撤退準備ヨリ新郷歸還後

(七月二十五日——七月三十一日)

七月二十五日 曇後晴

ノ無線小隊ハ清化鎮ニ於テ通信中ノ第五分隊ヲ第一  
 分隊ト第七分隊ヲ第三分隊ト十八時三十分交代セシム  
 2 無線第三分隊ヲ飯田支隊ニ配屬森山小隊ノ指  
 揮下ニ入ラシム

3 有線松田分隊ヲ以テ部隊ノ清化鎮撤去に伴ヒ清化  
 鎮基盤置少ノ有線網撤收ノタメ清化鎮ニ残置シ  
 森山見習士官ノ指揮ヲ受ケケム

4 部隊ハ明二十日新郷ニ歸還ノタメ十九時荷物枓  
 料ヲ清化鎮鎮驛ニ運搬三十一時之レガ塔載ヲ完了ス

七月二十六日 小雨

ノ八時左通信網ヲ撤去ス

陸軍

成田支隊  
トヨトモ⑤ (f=1730k.c) トメチ

3 十四時清化鎮驛ニ於テ入馬材料ノ塔載完了十五時十五分同驛發車十九時新郷着ニ十二時之員隊長以下六十七名其他異米ヲ歸還シ殘留員安田曹長以下三十三名ヲ合ス

4 新郷歸還ニ依リ二十時以後左ノ如ク無線通信網ヲ構成シ連絡開始ス

南村  
萩原支隊  
ホヨト  
新郷  
ケウカ  
清化鎮  
ナヨメ

f=2560 KC

2 清化鎮合同通信所及合同電報受付所ヲ八時閉所ス

230

5 右系ノ連絡開始ヨリ新洲ニテリクル三時内無線機架立  
分隊)ヲ閉所ス

清化鎮出發ニ當リ撤收ノ小型無線分隊ハ編成ヲ解キ  
原分隊ニ復歸セシム

6 清化鎮松田分隊ハ左記軍交換所加入ノ有線網ヲ撤  
去

副官部 事務室 兵器部

軍 醫 部 獸 醫 部

管 理 部 鳩 班

機 建 築 隊

七月二十七日 晴

ノ有線小隊ノ新洲有線通信連絡ヲ出動前ニ復歸  
ス

イ江口分隊ハ電話機ヲ引上アリシ箇所各取付テ完

陸軍

了ス

只關口分隊ハ再ビ交換所勤務ヲ續行ス

之清化鎮松田分隊ハ軍交換所——高射砲隊有

豫網ヲ撤収ス

七月二十八日 晴後雨

ノ清化鎮ニ於テ部隊撤去後ノ有豫網撤収ニシアリシ

松田軍曹以下八名任務終了ニ付本日歸隊ス

七月二十九日——三十一日——晴

ノ一號作戦間當隊擔任ノ清化鎮倉庫電報受付所

取扱電報總通數左記ノ如シ



3月末日現在兵隊師團通信隊ノ無線通信網				2月末日現在兵隊師團通信隊ノ有線通信網				1日平均統計左ノ如シ							
種	發	受	中	種	發	受	中	種	發	受	中	種	發	受	中
數	信	信	継	數	信	信	継	數	信	信	継	數	信	信	継
70	15	22	33	313	596	1009	1509	761	517	337	615	761	517	337	615
全部官報	トス							761	517	337	615	761	517	337	615
考								全部官報ニテ	所報ハ受付ナラ	經由セサルヲ以テ	舍マス	全部官報ニテ	所報ハ受付ナラ	經由セサルヲ以テ	舍マス

別紙ノ如シ

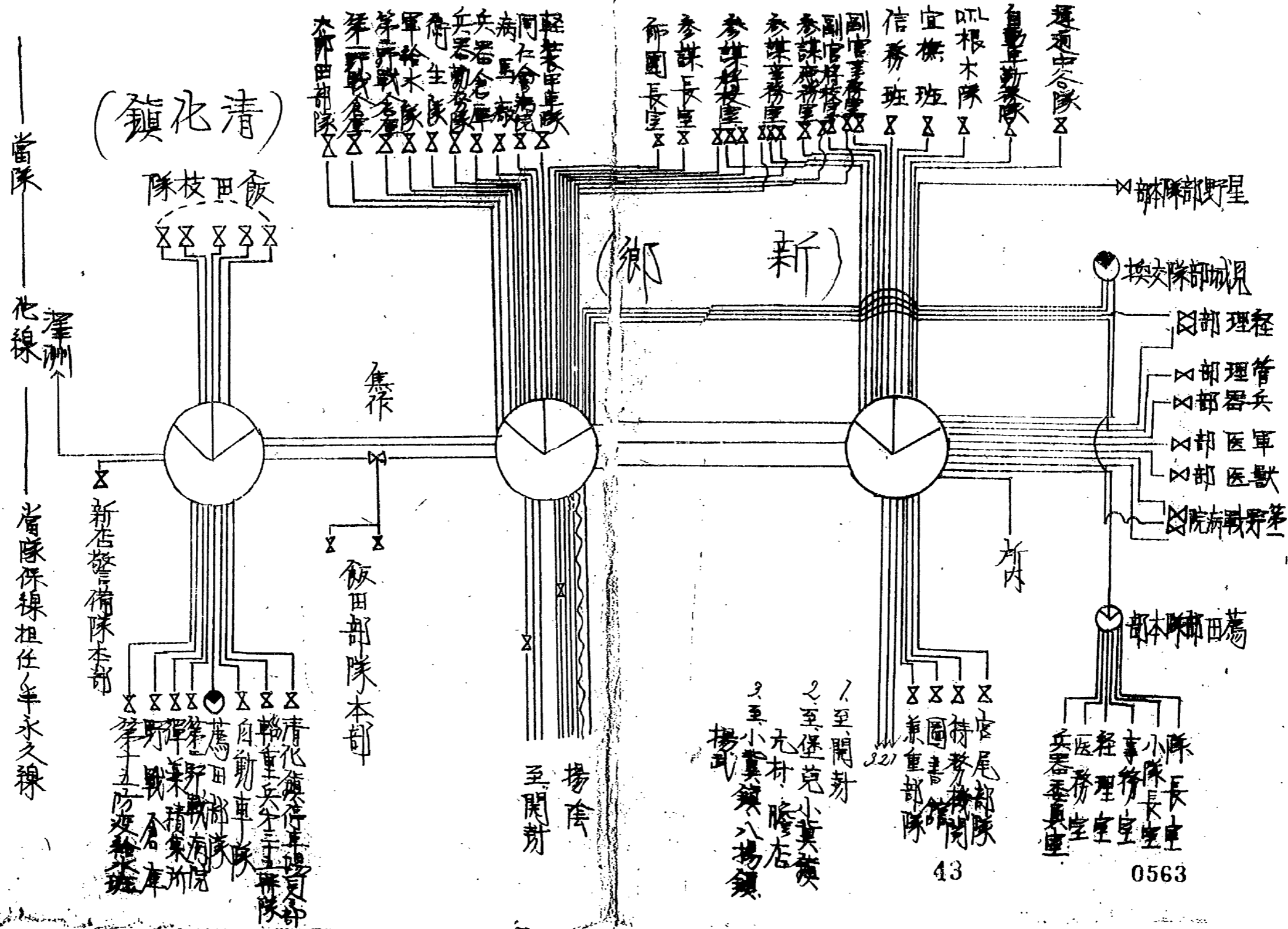
々飯田枝隊配屬有無線森山小隊並三鈴木分隊  
ハ清化鎮ニ於テ萩原技隊配屬無線多田分隊  
ハ南村ニ於テ各現任務ヲ續行中ナリ

陸軍

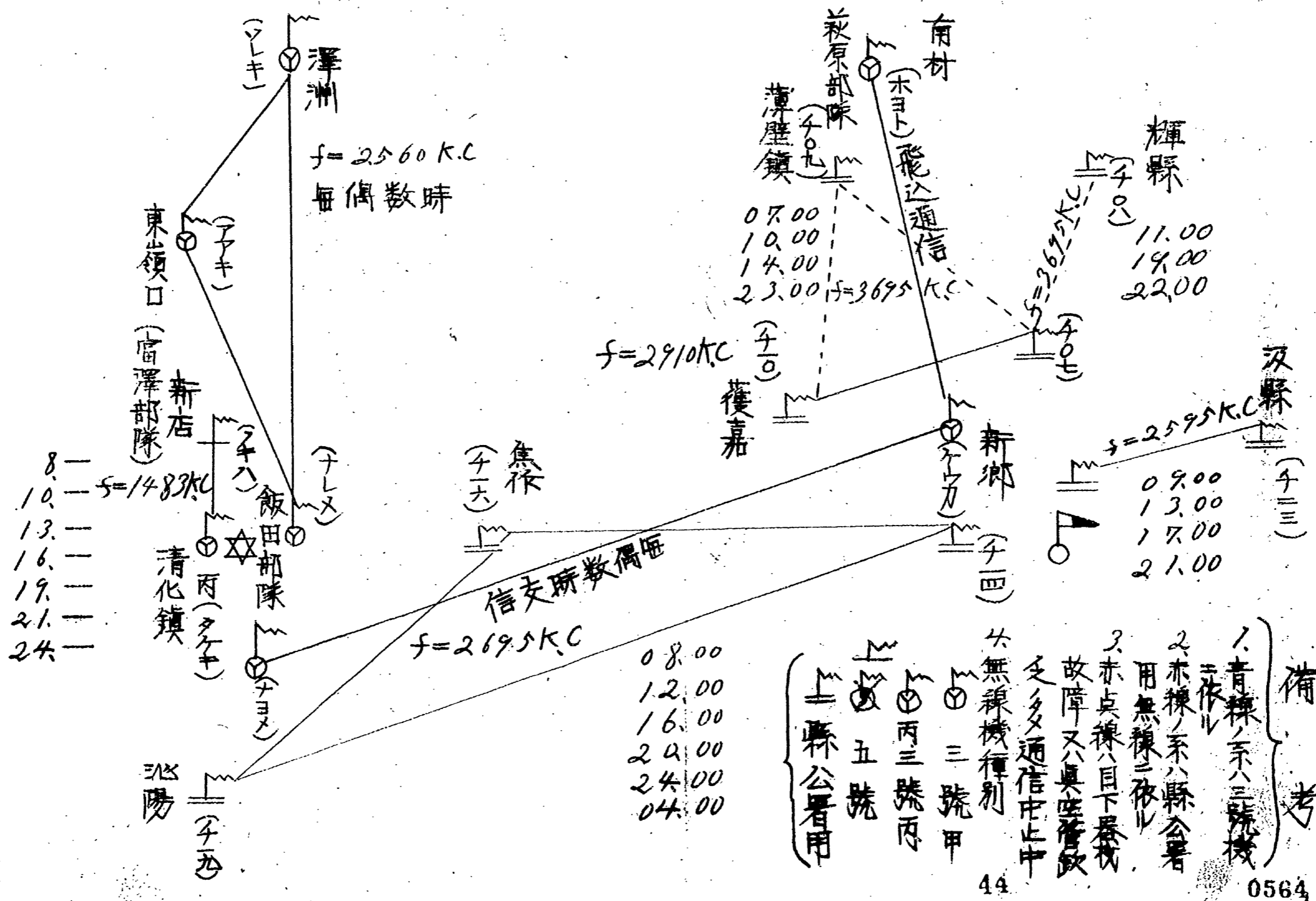


9230

# (在現時七月七) 圖要網信通線有隊信通團師



(在現日一十三月七)圖網信通線無隊信通團師



陸軍

二天候、氣象、地形、通信ニ及ミタル影響

本期作戰間降雨ト山地帯ノ關係上器材濕潤シ通信不能ニナリ名場合多ク空電大ナリシタメ無線通信ヲ

阻害セリ

三、將來ノ参考トナルヘキ事項

ノ編成

新設師團通信隊ノ人員、今次作戰ノ如キニ於テ人員過少ニシテ多大ノ支障ヲ來セリ、即チ一分隊十二名(馬編成)ノ處有線分隊九名無線分隊九名乃至五名ナリキ

之レカ爲最モ困難ヲ生シタル無線通信ニ於テ約一ヶ月余ニ亘ルシテ時受信ノ要索ナリキ之レカ爲無線手ハ疲勞困憊シ事故ヲ生スルノツ原由トナリシニ從ツテ支那ノ人ヲ使用シタル狀況ナリ

因

之事前準備

行動開始前通信隊ノ大部分ヲ一地ニ集結シテ真  
及飛行隊トノ直接ノ連絡算ハ爾後ノ行動多大ノ  
便ヲ生リ

通信諸元(周波数及呼出符號)ハ多ク配當サレ度シ  
之カ爲メ今次作戰以外ノ兵團ノ諸元ヲ配當サレモ可ナ  
ム

暗號書ハ一無線器材ニ通ラ要スル爲メ予備トシテ  
若干配當サレ度シ今次作戰途中ニ於テ小型無線ヲ  
増加サレヌ無線第三小隊ノ配屬分隊ノ如キハ暗號  
書ヲ所持シ居ラサル爲メ他ヨリ融通セカ如シ

ヲ他部隊ニ對シテ要求

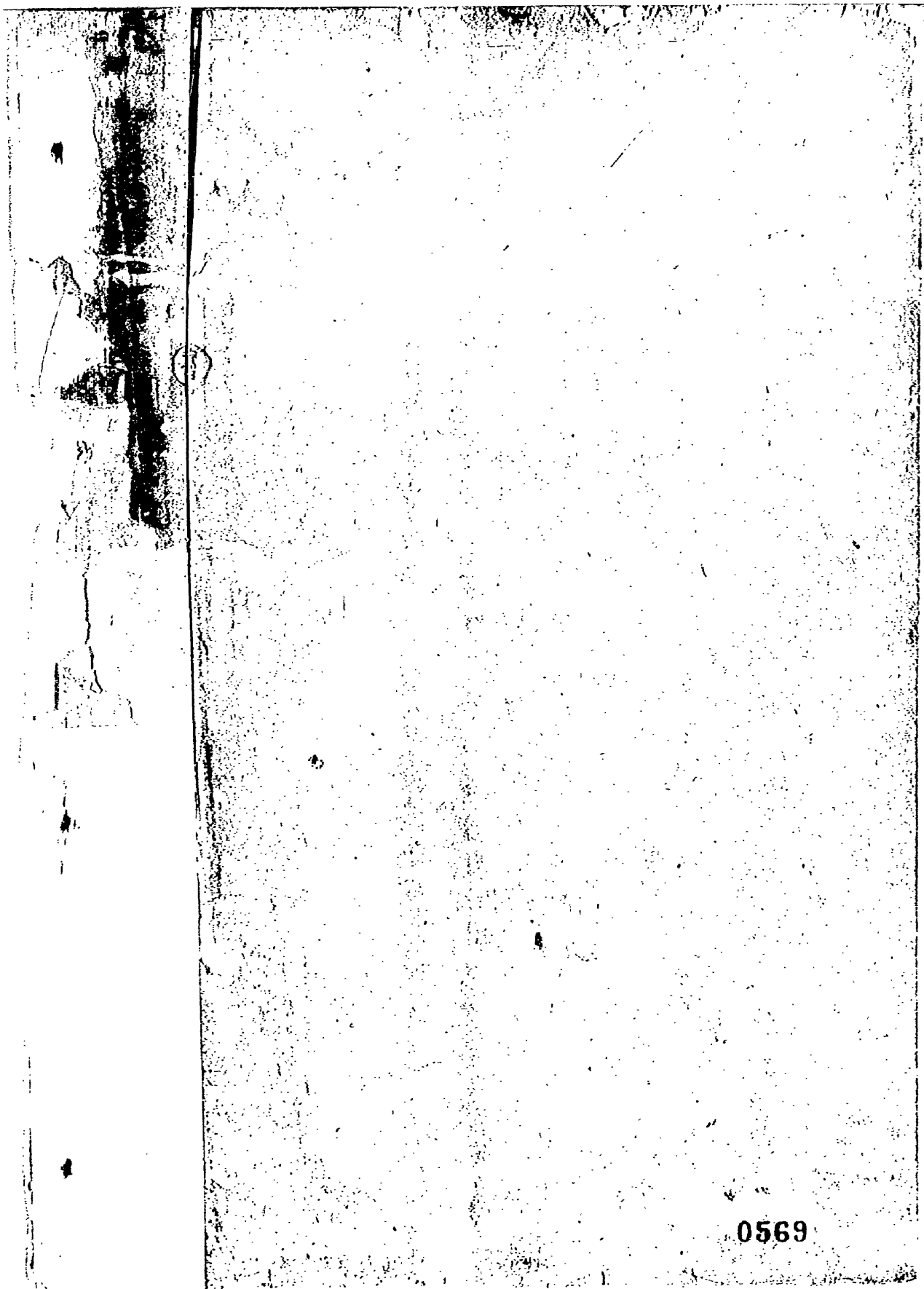
通信部隊へ通信連絡ヲ以テ本員スル爲メ一隊ノ助  
闘力不十分ナリ之カ爲メ友軍ノ干場所ニ於テ

陸軍	敵地ノ架設及通信所勤務ニ於テハ各隊ハ機極 的ニ掩護兵ヲ附セシメ度シ	現地ニ於ケル通信部隊ヨリノ要求ハ困難ナリ此ト莫當 澤部隊ニ於テハ特ニ良好ニシテ通信隊トシテ便宜ヲ與 ヘシケルト莫多シ
----	--------------------------------------	--



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

0568



0569

**国立公文書館 アジア歴史資料センター**

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>